

## 日本岩石鉱物鉱床学会平成 14 年度総会記事

本会の平成 14 年度総会は、平成 15 年 9 月 29 日(月)11:00~12:00 に仙台市戦災復興記念会館において開かれ、35 名出席(委任状 78)で、会則 17 条により成立した。谷口庶務常務委員の開会宣言のあと、議長に佐藤博明会員(神戸大学)が選出された。荒井会長の挨拶があり、続いて物故された袋瀬六松・本多朔郎・宮野 敬・梶谷雄司会員の冥福を祈って黙祷を捧げた。

### ・報告及び承認事項

#### 1. 庶務、行事、会計並びに編集に関する報告

平成 14 年度における下記の報告が庶務常務委員(谷口) 行事常務委員(小山内)、 会員常務委員(平島、代理吉田)、 GKK 編集常務委員(藤巻)、 会計常務委員(大谷)より行われた。

- (1) 平成 14 年度中に開催された総会、講演会は、平成 14 年 10 月 1 日(火)~4 日(金) 日本岩石鉱物鉱床学会総会並びに学術講演会(大阪大学 豊中キャンパス) 平成 14 年 10 月 1 日(火)、ハットン・プレシポジウム(大阪大学豊中キャンパス)、平成 15 年 5 月 26 日(月)~29 日(木)、2003 年地球惑星科学関連学会合同大会(幕張メッセ国際会議場)であった。また、3 回の評議員会と、2 回の常務委員会が開催された。
- (2) 平成 15 年度中に開催予定の学術講演会、総会は、2004 年 5 月 9 日(日)~13 日(木) 2004 年合同大会(幕張メッセ国際会議場)および 2004 年 9 月 22 日(水)~24 日(金)平成 15 年度日本岩石鉱物鉱床学会総会並びに学術講演会(岡山大学 50 周年 記念会館および理学部)である。
- (3) 会員の動向について説明が行われた。平成 15 年 9 月 24 日現在の正会員は 535 名(うち海外 6 名)、 共通会員 129 名、 大学院・学生会員 54 名、 大学院・学生共通会員 0 名、 永年会員 15 名(海外 1 名)、 名誉会員 4 名、 特別会員 8 件(うち共通 2 件)、 購読会員 71 件(うち共通 36 件)、 海外購読会員 4 件、 海外交換寄贈 62 件(内 JMPS12 名、 CASI 1 件、 ISIJ 1 件、 共通 11 件)、 国内交換 9 件(共通 2 件)、 国内寄贈 7 件(共通 4 件)を含め、 合計 898 件である。平成 15 年度の永年会員は、唐木田芳文、砂川一郎各氏の 2 名。平成 14 年度中に入会者は正会員 9 名、 大学院生・学生 15 名、 購読会員 5 件、 復活会員 7 名、 退会者は正会員 32 名、 物故会員 4 名、 購読会員 5 件、 特別会員 1 件である。会員数の減少と、若年層の内訳について報告が行われた。
- (4) 平成 15 年 9 月 28 日(日) 第 1 回 JMPS 編集委員会、第 1 回合同「岩石鉱物科学」編集委員会が開催された。JMPS98 巻 4 号(8 月号)は 3 編掲載予定で最終原稿待ち、MPS 投稿論文は 19 編、1 編受理予定である。岩石鉱物科学 32 巻 4 号(7 月号)は 2 編掲載予定、GKK 岩鉱学会グループ投稿論文は 14 編である。JMPS97 巻 4 号~6 号~98 巻 1 号~3 号の掲載内容は、Reviews 3 件 26 頁、Articles 23 件 228 頁、Letters 2 件 8 頁、Min. Abst. 169 件 31 頁、Editorial 5 頁、Errata 3 件 3 頁、投稿規定 18 頁、Index 3 頁、Contents 4 頁、白頁 4 頁、合計 330 頁、1 号平均 55 頁である。岩石鉱物科学 31 巻 5、6 号~32 巻 1 号~3 号の掲載内容は、原著論文 8 件(内岩鉱グループ 7 件) 102 頁、短報 1 件(内岩鉱グループ) 4 頁、総説 2 件(鉱物 50 周年記念号含) 83 頁、解説・資料 3 件(内岩鉱グループ) 21 頁、討論 0 頁、総目次 3 頁、新刊紹介 6 件 3 頁、ニュース 6 頁、投稿規定 1 件 2 頁、学会記事 50 頁、年会案内・プログラムなど 19 頁、広告 15 頁 15 頁、白頁 2 頁、合計 310 頁、1 号平均 62 頁であった。

#### 2. 評議員選挙結果報告

投票用紙配布総数 738、投票総数 280(有効数 276 無効数 2)で次の諸氏が選出された。

(平成 14 年 8 月 20 日開票 選挙管理委員会 委員長 林 謙一郎、委員 後藤 章夫、宮本 毅、栗林 貴弘、鈴木 昭夫) 評議員(任期 2 年:平成 15 年 9 月 1 日~平成 17 年 8 月 31 日)

小山内康人	小畑正明	奥山康子	周藤 賢治
鈴木和博	田切美智雄	西山忠男	幢崎哲夫
平島崇男	藤巻宏和	前田仁一郎	松枝大治
松原 聡	宮嶋 敏	吉田武義(以上 15 名)	

<次点> 赤荻正樹

3. 平成 14 年度会計決算報告及び会計監査報告  
大谷会計常務委員から第 1 表(後頁参照)の報告がなされ、続いて伴会計監事より監査報告があり承認された。

#### 4. 平成 15 年度会計監事の承認

評議員会より推薦された土屋範芳(留任) 宮本 毅(新任)の両会員が承認された。

#### 5. 学術会議及び研連報告

石渡研連委員より、第 19 期日本学術会議会員の決定、第 19 期鉱物学研連委員会委員岩鉱学会推薦者、宇宙化学研究連絡委員会委員岩鉱学会推薦者、第 19 期地質学研連委員会委員推薦者岩鉱学会推薦者についての報告が行われた。

#### 6. その他

##### ・地学教育に関するアンケート

宮嶋地学教育一般教育普及委員より、初等教育に関するアンケートについて説明が行われ、協力が呼びかけられた。本学会におけるアンケート回収は、高等教育関係者から初中等教育に関する要望としての意味を持つ。

##### ・研究奨励賞表彰規則の改定について

奨励賞等問題検討委員会佐藤委員長より、研究奨励賞および論文賞の表彰規定および内規について評議員会で審議・承認されていることが報告された。(後記参照)

##### ・審議事項

#### 1. 電子ジャーナル化について

藤巻編集常務委員より JMPS 編集委員会における電子ジャーナル化の決定と GKK 編集委員会においてはその検討が開始された旨が報告され、これについて審議が行われた。

#### 2. 平成 15 年度事業計画

谷口庶務常務委員より、平成 15 年度総会並びに学術講演会が平成 16 年 9 月 22 日より 24 日に岡山大学 50 年会館および理学部において開催したいとの提案がなされ、承認された。2004 年地球惑星科学関連学会合同大会は 2004 年 5 月 9 日(日)~13 日(木)に幕張メッセ国際会議場にて開催予定である。また、雑誌 JMPS と GKK をそれぞれ隔月で発行したいとの提案がなされ、承認された。

#### 3. 平成 15 年度予算案

大谷会計常務委員より、平成 15 年度予算案が第 2 表(後記参照)のとおり示され、承認された。

#### 4. IMA 2006-Kobe と 2006 年開催年會について

予算上の問題等があるため、2006 年の年會は IMA2006-Kobe に集中させてはどうかという提案がなされた。これについて審議を行った結果、評議員会へ一任することとした。

##### ・研究奨励賞授与

板谷研究奨励賞審査委員会委員長より、第 43 回受賞論文「Magmatic andalusite from the migmatite zone of the Aoyama area, Ryoke metamorphic belt, SW Japan, and its importance in constructing the P-T path (JMPS, vol.97, No. 5, 241p-253p, 2002)」と、川上哲生会員の業績及び略歴(後記参照)の紹介があり、荒井会長より賞状と記念品が授与された。

##### ・渡邊萬次郎賞授与

有馬渡邊萬次郎賞審査委員会委員長より、第 18 回受賞者石原舜三会員の業績および略歴(後記参照)について紹介があり、荒井会長より賞状と記念品が授与された。